

2021年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議案

日時：2022年3月7日（月）

議 題

| | |
|---------------------------|--------|
| 1. 2021年度事業報告 | 2 ページ |
| 2. 2021年度会計報告 | 5 ページ |
| 3. 2021年度会計監査報告 | 6 ページ |
| 4. 2022年度事業計画案 | |
| (1) 支部理事会 | 7 ページ |
| (2) 支部だより | 7 ページ |
| (3) 支部気象講演会 | 7 ページ |
| (4) 支部気象研究会 | 8 ページ |
| (5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動 | 8 ページ |
| (6) 日本気象学会小倉奨励賞などへの応募 | 8 ページ |
| (7) 第33期役員選挙 | 8 ページ |
| 5. 2022年度予算案 | 9 ページ |
| 6. 検討事項 | |
| (1) 支部長会議の報告 | 10 ページ |
| (2) 2023年度気象学会秋季大会の準備について | 10 ページ |
| 7. その他 事務局から | 14 ページ |

資 料

| | |
|------------------|--------|
| 役員名簿（第32期2021年度） | 15 ページ |
| 東北支部規則 | 16 ページ |
| 東北支部細則 | 17 ページ |

議題 1. 2021年度事業報告

1 2021年度支部活動報告

1) 東北支部だより発行

■第93号 (2021年10月発行)

- ・ 支部長就任あいさつ
- ・ TOPIC「津軽の七つの雪」：安藤 昭芳氏（青森地方気象台 観測予報管理官）
- ・ 2020年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議事抄録
- ・ 2021年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議事抄録
- ・ 日本気象学会東北支部気象講演会のご案内
- ・ 東北支部「気象研究会」の開催案内と講演募集
- ・ 事務局からのお知らせ

■第94号 (2022年3月発行予定)

- ・ TOPIC「気象庁天気図の歴史について」
：永山 隆治氏（仙台管区気象台気象防災部予報課長）
- ・ 報告1「2021年度 日本気象学会東北支部気象研究会」
：日本気象学会東北支部事務局
- ・ 報告2「2021年度 日本気象学会東北支部気象講演会」
：日本気象学会東北支部事務局
- ・ 2021年度日本気象学会東北支部臨時理事会 議事抄録
- ・ 事務局からのお知らせ

2) 東北支部気象講演会

日 時：2021年12月13日（土）14時00分～16時00分

会 場：ラコパ福島（Webによる同時配信も実施）

テーマ：「気象と農業 ～気候変化と福島県の農業を考える～」

講演者：小野寺 晃一氏（福島地方気象台）

安達 義輝氏（福島県農業総合センター果樹研究所）

吉田 龍平氏（福島大学）

参 加：約120名（うち会場参加35名）

主 催：日本気象学会東北支部

共 催：福島地方気象台

後 援：福島県、福島市、福島大学、日本気象協会東北支社、日本気象予報士会東北支部、地球ウォッチャーズ-気象友の会-、福島県農業協同組合中央会

3) 東北支部気象研究会

仙台管区気象台東北地方調査研究会との共催

日 時：2021年12月13日（月）13時00分～17時15分

会 場：仙台第3合同庁舎2階大会議室（仙台管区気象台）

講演：13題

参加者：30名（会場参加のみ、その他Zoom、YouTubeによるオンライン配信も実施）

気象研究会の発表演題、著者（敬称略、発表者に○）

なお紙面の都合上、仙台管区气象台東北地方調査研究会の題目は省略

- ・東北地方における地球温暖化に伴う気候変化
○諸岡浩子、岩崎俊樹、山崎剛（東北大学大学院理学研究科）
- ・6月の東シナ海域で見られる顕著な降水日周期の形成要因
○山下堯也、岩渕弘信、岩崎俊樹（東北大学大学院理学研究科）
- ・令和3年2月15日から17日にかけての発達した低気圧の解析
○山口純平（青森地方气象台）
- ・2021年8月9日から10日にかけての青森県を中心とした大雨事例の調査
○高野一生、岩場遊（仙台管区气象台）
- ・機械学習を用いたひろだい白神レーダーによる津軽平野の冬季降水量予測
○谷田貝亜紀代、前田未央、今井雅（弘前大学大学院理工学研究科）
- ・2020/2021年の弘前市における降水の安定同位体比の特徴について
○上野優（弘前大学理工学部）、谷田貝亜紀代（弘前大学大学院理工学研究科）、芳村 圭（東京大学生産技術研究所）

また、日本気象学会東北支部発表賞の今年度の受賞者は以下のとおり。

○山口純平（青森地方气象台）

「令和3年2月15日から17日にかけての発達した低気圧の解析」

○上野優（弘前大学理工学部）

「2020/2021年の弘前市における降水の安定同位体比の特徴について」

4) 支部理事会

- ・第1回（Web開催 2021年7月7日）
- ・臨時理事会（書面開催 2021年12月20日～同月27日）
- ・第2回（Web開催 2022年3月7日）

5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）
今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止することとした。

6) 日本気象学会小倉奨励賞の推薦

・推薦はなし

議題2. 2021年度会計報告 (2022年2月28日時点)

〔〔支部一般会計〕 (2021年4月1日～2022年2月28日)〕

| | 予算額 | 決算額 | 差異 [予算-決算] |
|-----------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| I 収入の部 | | | |
| 事業活動収入 | | | |
| 本部交付金 | | | |
| 一般交付金(仮名) | *1534,800円 | 534,800円 | 0円 |
| 普及啓発活動への助成 | 40,000円 | 40,000円 | 0円 |
| 気象予報士会東北支部分担金 | *220,000円 | 0円 | 20,000円 |
| 前期繰越金 | 345,573円 | 345,573円 | 0円 |
| 事業収入(広告料等) | 0円 | 0円 | 0円 |
| 雑収入 | | | |
| 預金利息 | 5円 | 5円 | 0円 |
| 事業活動収入計(1) | 940,378円 | 920,378円 | 20,000円 |
| II 支出の部 | | | |
| 事業活動支出 | | | |
| 事業費支出 | | | |
| 支部気象講演会 | 250,000円 | 203,961円 | 46,039円 |
| 支部気象研究会 | 100,000円 | 37,548円 | 62,452円 |
| 支部だより | 200,000円 | 98,026円 | 101,974円 |
| 気象サイエンスカフェ東北 | 60,000円 | 0円 | 60,000円 |
| ホームページ運営費 | 15,000円 | 15,000円 | 0円 |
| 管理費支出 | | | |
| 支部理事会 | 85,000円 | 0円 | 85,000円 |
| 支部役員選挙 | 0円 | 0円 | 0円 |
| 事務費 | 10,000円 | 19,920円 | 10,000円 |
| 事業活動支出計(2) | 720,000円 | 374,455円 | 375,545円 |
| III 予備費支出 | | | |
| 予備費支出 | 220,378円 | 0円 | 220,378円 |
| 予備費支出計(3) | 220,378円 | 0円 | 220,378円 |
| | | | |
| 当期収支 (A)=(1)-(2)-(3) | 0円 | 545,923円 | |
| 次期繰越額 (A)-(残りの支出予定額) | 0円 | 545,923円 | |

*1一般交付金は、支部会員154名×1,200円+35万円

*22020年度気象予報士会東北支部分担金は予定


黄色塗りつぶしは、今年度まだ事業(支出予定)が残っているもの

議題3. 2021年度会計監査報告（2022年3月2日時点）

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2022年 3月 2日

日本気象学会東北支部会計監査

岩井弘樹 

議題4. 2022年度事業計画案

(1) 東北支部理事会の開催

- ・例年は年2回(5~6月、3月頃予定)開催している。
- ・議論が必要な場合は、適宜臨時理事会を開催する。

(2) 東北支部だより発行

- ・年2回発行(第95号、96号)の予定。
- ・作業簡略のため、発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集、印刷及び会員への発送は2021年度と同様に業者発注とする。

(3) 東北支部気象講演会

【概要】

日 時：未定
会 場：未定
テーマ：未定

- ・2022年度は岩手県で開催予定、テーマ等は未定。今後準備を進めていく。

2014年度以降の開催状況

| 年度 | 開催地 | 講演者 | | |
|--------|----------------------------|---------------------|----------------------------|--------------------|
| 2014年度 | 福島市 | 渡邊 明 (福島大学) | 小畑 英樹 (福島地方気象台) | |
| 2015年度 | 仙台市 | 岩崎 俊樹 (東北大学) | 小森 大輔 (東北大学) | 廣川 康隆 (仙台管区気象台) |
| 2016年度 | 盛岡市 | 山本 浩之 (福島大学) | 名越 利幸 (岩手大学) | |
| 2017年度 | 秋田市 | 和田 幸一郎 (秋田地方気象台) | 本谷 研 (秋田大学) | |
| 2018年度 | 山形市 | 小杉 健二 (新庄雪氷実験所) | 川瀬 宏明 (気象研究所) | |
| 2019年度 | 弘前市 | 加藤 輝之 (気象大学校) | 木所 英昭 (東北区水産研究所) | |
| 2020年度 | 仙台市 (web開催) | 岩井 弘樹 (仙台管区気象台) | 早坂 忠裕 (東北大学) | |
| 2021年度 | 福島市 (web開催との ハイブリッド) | 小野寺 晃一 (福島地方気象台) | 安達 義輝 (福島県農業総合セ ンター) | 吉田 龍平 (福島大学) |

方針：気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。なお開催地を変更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

（４）東北支部気象研究会

2022年度の開催については、仙台管区気象台 防災調査課と検討し、気象台の東北地方調査研究会と東北支部気象研究会の合同発表会の形式で行うことを計画する。

（５）日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）

- ・第11回気象サイエンスカフェ東北を、仙台市で開催する。テーマや講師等は、日本気象予報士会東北支部と連携して検討を行う。

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

（６）日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦

（７）第33期役員選挙

2022年3月31日を以って、第32期役員の任期は満了する。それに伴い、2022年春に第33期役員選挙を執り行う。なお選挙管理人は、岩渕幹事にご担当いただく予定である。

（日程概要）

- ・3月下旬：選挙告示を会員宛に発送（郵便またはメール）
- ・4月中旬：立候補者受付締切（予定：4月15日（金））
- ・4月下旬：投票用紙を会員宛に発送（郵便）
- ・5月中旬：投票締切（予定：5月16日（月））
- ・5月下旬：開票・当選者確定
- ・6月頃：2022年度第1回理事会にて報告・当選者公示（支部だより第95号にて掲示）

議題5. 2022年度予算案

〔支部一般会計〕（※マイナスの金額には、△印を付した。）

| | 2022年度 予算額 | 2021年度 予算額 | 予算増減額 [2022年—2021年] | 2021年度 決算額 |
|----------------------------------|-------------------|---------------|------------------------|-------------------|
| I 収入の部 | | | | |
| 事業活動収入 | | | | |
| 本部交付金 | | | | |
| 一般交付金(仮名) | *1531,200円 | 534,800円 | △円 | 534,800円 |
| 普及啓発活動への助成 | 40,000円 | 40,000円 | 0円 | 40,000円 |
| 気象予報士会東北支部分担金 | *220,000円 | 20,000円 | 0円 | 0円 |
| 前期繰越金 | *3450,000円 | 345,573円 | 104,427円 | 345,573円 |
| 事業収入(広告料等) | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| 雑収入 | | | | |
| 預金利息 | 5円 | 5円 | 0円 | 5円 |
| 事業活動収入計(1) | 1041,205円 | 940,378円 | 100,827円 | 920,378円 |
| II 支出の部 | | | | |
| 事業活動支出 | | | | |
| 事業費支出 | | | | |
| 支部気象講演会 | 250,000円 | 250,000円 | 0円 | 203,378円 |
| 支部気象研究会 | 100,000円 | 100,000円 | 0円 | 37,548円 |
| 支部だより | 200,000円 | 200,000円 | 0円 | 98,026円 |
| 気象サイエンスカフェ東北 | 60,000円 | 60,000円 | 0円 | 0円 |
| ホームページ運営費 | 15,000円 | 15,000円 | 0円 | 15,000円 |
| 管理費支出 | | | | |
| 支部理事会 | 85,000円 | 85,000円 | 0円 | 0円 |
| 支部役員選挙 | 30,000円 | 0円 | 30,000円 | 0円 |
| 事務費 | 10,000円 | 10,000円 | 0円 | 0円 |
| 事業活動支出計(2) | 750,000円 | 720,000円 | 30,000円 | 374,455円 |
| III 予備費支出 | | | | |
| 予備費支出 | 291,205円 | 220,378円 | 70,827円 | *3545,923円 |
| 予備費支出計(3) | 291,205円 | 220,378円 | 70,827円 | 545,923円 |
| 当期収支差額 (A)=(1)-(2)-(3) | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |

*1一般交付金は、2/28現在の会員数から151名×1,200円+35万円を見込む。

*22021年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

*3 想定される繰越額は暫定。2/28時点での収支差額を予備費の支出項に暫定的に入れている。

黄色塗りつぶしは、2021年度まだ事業(支出予定)が残っているもの(2021年度決算額)、それに伴い確定されないもの(2022年度予算額・予算増減額)。

議題6. 検討事項

(1) 支部長会議の報告

日時：令和4年2月15日(火) 13時～15時

場所：オンライン

出席：本部理事、各支部長等

○概要

- ・4つの議題(①支部活動報告・計画、②秋季大会取組状況、③2022年以降の大会開催形式について、④その他「気象学会と気象台との連携」)についてそれぞれ議論した。
- ・①支部活動報告等では、当支部の報告の際に、気象サイエンスカフェについてオンラインでも参加者との交流もできているとの指摘が理事からあった。
- ・②秋季大会取組状況では、北海道支部から今年度の秋季大会の準備を着実に進めている旨報告があった。アウトソーシングなどによる負担軽減については、各支部とも大事との認識であった。近年、シンポジウムは負担軽減のため行わない方向にある。
- ・③2022年以降の大会開催形式では、春季大会はオンライン開催、秋季大会は現地開催とし、ローテーションを現在の5年から7年にして地方での負担軽減を図るとのことが、それぞれ報告された。東北支部は、従来通り2023年秋に担当。
- ・④その他「気象学会と気象台との連携」では、昨年12月に佐藤理事長と長谷川気象庁長官とが懇談し、今後とも気象学会と気象庁とが連携・交流していくことが確認された旨、報告された。これを踏まえて意見交換があり、当方からは、気象台としては研究発表会の合同開催は引き続き取り組みたいこと、気象学を学ぶ学生を増やすためSSHなどの高校での出前講座を学会(大学)と気象台と一緒に取組むことを提案した。
- ・所感として、秋季大会は赤字運営になっており簡素な計画が必要とされる一方で、アウトソーシングなどによる負担軽減も必要とされており、これらの両立は今後も課題と感じた。

(2) 2023年度日本気象学会秋季大会の準備について

1) 日程と会場

日程:2023年10月23日(月)～10月26日(木)

会場:仙台国際センター(予定、仮予約中)(3.5日4会場 22日(日)も設営用に予約済)

2) 施設の予約について

上記期間について会議棟全棟を利用時間09:00～21:30で仮予約中。仮予約期限は2022年5月31日(火)だが、本契約は半年前(2023年4月)までにすれば良い(仮予約期限日以降でも違約金等は発生しない)。

なお、本契約前でも使用しないことが確定した部屋は、なるべく速やかにリリースすること。

2008年度、13年度、18年度の大会では、会議棟の以下の施設を使用した。

- ・大ホール（シンポジウムのみ）
- ・大会議室 橘（A会場）
- ・大会議室 萩（B会場）
- ・大会議室 白樺1（D会場）
- ・展示・レセプションホール 桜1（ポスターセッション）
- ・展示・レセプションホール 桜2（C会場）
- ・控室5、小会議室4・5、応接室、厨房等

3) 準備委員会について

前回（2018年）は当年の1月に実行委員会を立ち上げていたが、別途準備委員会を前年6月に立ち上げ、7月には日程と予算の案を作成して本部に連絡していた。2023年秋季大会に向けて、前回同様に準備委員会を来年度第1回理事会（6月頃）に立ち上げ、日程、予算や実行委員会メンバーの検討などを始めたい。

4) 行動計画案（前大会時を基にした素案）

| 年 月 | 実施事項 |
|-------------|--|
| 2022年 3月 | ・2021年度第2回理事会 … 準備委員会の立ち上げ等の確認 |
| 5月 | ・準備委員会立ち上げの準備（体制検討等） |
| 6月 | ・2022年度第1回理事会 ・第1回準備委員会（日程案、予算案） |
| 7月 | ・第2回準備委員会（日程案、予算案） ・日程案、予算案 → 本部へ報告 |
| 8月 | |
| 9月 | ・第3回準備委員会（実行委員、役割分担、予算などの検討） |
| 10月 | ・秋季大会実行委員会の設置 ・準備委員会による秋季大会の視察（現地事務局と打合せ） |
| 11月 | |
| 12月 | ・仙台観光国際協会へ助成金の申請 |
| 2023年 1月 | ・第1回実行委員会：メンバーと分担、大会行事予定、シンポ、予算、寄付 ・協賛金の具体的な取組開始（企画、準備） ・寄付金振込み専用口座の開設 |
| 2月 | ・大会告示原稿のための資料作成（講演企画委員会に確認） ・保育施設の情報収集と検討 |
| 3月 | ・第2回実行委員会（+2022年度第2回支部理事会）：大会告知情報、シンポのテーマ・講演者、寄付 |

| | |
|-----|--|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・異動に伴う欠員の補充等 ・大会告示原稿の送付 → 講演企画委員会 ・国際センター仮予約 → 使用申込書の提出 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・春季大会視察 ・実務担当者の選任 ・実行委員の委嘱手続き |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第3回実行委員会(+2018年度第1回支部理事会): 実行委員会再構成、分担、シンポジウム準備、予算、スケジュール等確認 ・企業展示・寄付・広告・リクルートブース依頼 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム講師依頼文書発送、原稿作成依頼 ・シンポジウム講演要旨集への広告掲載案内 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・秋季大会交付金増額(差額分)の申請 ・学会本部からの依頼事項を受理 ・各研究会からの申込、会場手配 ・当日の連絡先電話(レンタル)の手配 ・プログラム原稿のための必要資料送付(講演企画委員会) ・企業展示・寄付・広告・リクルートブース請求書発送 ・各委員会の申込 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第4回実行委員会: 大会プログラム、パート別企画、事前登録・寄付・広告・助成金・各委員会の進捗、予算・会計、スケジュール等確認 ・研究会の会場手配(講演企画委員会へ連絡) ・委員会の会場手配(学会本部へ連絡) ・シンポジウム要旨集原稿〆切、原稿編集 ・シンポ要旨集、シンポチラシ・ポスター、参加票・名札の印刷委託 ・国際センター施設使用料納入期限(利用日の1か月前まで) ・国際センター下見 |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第5回実行委員会: 進捗状況等の確認 ・秋季大会直前業務 … 備品等準備、弁当手配、最終確認 ・秋季大会当日業務 |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム講師へのお礼状の発送 ・仙台国際センター付帯設備使用料の納入期限(会議後2週間以内) ・懇親会費の納入期限(会議後2週間以内の見込み) ・各パート報告書作成 |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第6回実行委員会: 実施報告書 ・仙台観光国際協会に実施報告書の提出(提出後に助成金交付) ・本部へ残金返却 ・実施報告書・総括の送付 |

【参考】2018年度秋季大会実行委員

<実行委員会>

| | | |
|------|------------------------------|--------|
| 委員長 | ： 大林正典(仙台管区气象台長) | (支部長) |
| 副委員長 | ： 青木周司(東北大学教授) | (常任理事) |
| 委員 | ： 岩崎俊樹(東北大学教授) | (委員) |
| | 早坂忠裕(東北大学教授) | (委員) |
| | 山崎 剛(東北大学教授) | (常任理事) |
| | 森本真司(東北大学教授) | (常任理事) |
| | 岩渕弘信(東北大学准教授) | (幹事) |
| | 稲飯洋一(東北大学助教) | (委員) |
| | 杉山公利(日本気象予報士会東北支部長) | (常任理事) |
| | 小久保綾香(日本気象協会東北支社) | (委員) |
| | 西尾利一(仙台管区气象台気象防災部長) | (常任理事) |
| | 吉田 薫(仙台管区气象台気象防災部気象防災情報調整官) | (会計監査) |
| | 大久保忠之(仙台管区气象台気象防災部地球環境・海洋課長) | (委員) |
| | 渕上隆雄(仙台管区气象台気象防災部防災調査課) | (幹事) |
| | 正木孝志(仙台管区气象台気象防災部地球環境・海洋課) | (幹事) |

<役割分担>

| | |
|------|----|
| ○総括 | 青木 |
| 事務局長 | 岩渕 |

○分野別担当

| | |
|--------------------|-----------------------|
| 総務 | 岩渕, 渕上, 稲飯, 正木 |
| 会計 | 渕上, 正木, 岩渕, 吉田 (会計監査) |
| 口頭発表会場運営 | 稲飯, 山崎 |
| ポスター会場運営 | 青木, 稲飯 |
| シンポジウム・授賞式会場運営 | 森本 |
| シンポジウム事務 | 岩渕, 渕上, 早坂 |
| 懇親会運営 | 西尾, 山崎 |
| 受付運営・報道対応 | 大久保, 小久保, 西尾 |
| 寄付助成・企業展示・リクルートブース | |
| | 稲飯, 渕上 |
| アルバイト統括 | 森本 |

議題7. その他（事務局から）

① 東北支部会員数（個人会員）

2022年2月28日現在

| 県名 | 会員数 | 2021. 04. 28 |
|-----|------|--------------|
| 青森県 | 21名 | 21名 |
| 岩手県 | 11名 | 13名 |
| 秋田県 | 13名 | 14名 |
| 山形県 | 12名 | 14名 |
| 宮城県 | 74名 | 73名 |
| 福島県 | 20名 | 19名 |
| 合 計 | 151名 | 154名 |

3名減

支部メーリングリスト登録者数

2022年2月28日現在

| 県名 | 登録者数 | 2021. 04. 28 |
|-----|------|--------------|
| 青森県 | 19名 | 18名 |
| 岩手県 | 7名 | 9名 |
| 秋田県 | 12名 | 13名 |
| 山形県 | 10名 | 11名 |
| 宮城県 | 70名 | 69名 |
| 福島県 | 16名 | 15名 |
| 合 計 | 134名 | 135名 |

1名減

② 旅費等について

交通費については

青森は 22,900円〔11,420円×2〕

弘前は 23,300円〔11,640円×2〕

秋田は 21,100円〔10,560円×2〕

盛岡は 13,600円〔6,790円×2〕

山形は 2,400円〔1,170円×2〕

福島は 2,700円〔1,340円×2〕

仙台、岩沼は片道500円をお願いします。

※100円未満の端数は切り上げています。

なお、支部活動における旅費の支給は、上記に準ずるものとします。

消費税率引き上げ（2019年10月1日）による運賃・料金の改正を適用。

日本気象学会東北支部第 32 期 2021 年度役員名簿（案）

2022 年 3 月 22 日現在

| | | |
|------|---------|-----------------------|
| 支部長 | 千葉 剛輝 | 仙台管区気象台長 |
| 常任理事 | 立原 秀一 | 仙台管区気象台気象防災部長 |
| | 菅原 敏 | 宮城教育大学教授（理科教育講座） |
| | 杉山 公利 | 日本気象予報士会東北支部長 |
| | 永山 隆治 | 仙台管区気象台気象防災部予報課長 |
| | 奈良 慶 | 日本気象協会東北支社総務課長 |
| | 森本 真司 | 東北大学大学院教授（理学研究科） |
| | 山崎 剛 | 東北大学大学院教授（理学研究科） |
| 地方理事 | 桜井 美菜子 | 福島地方気象台長 |
| | 谷田貝 亜紀代 | 弘前大学大学院教授（理工学研究科） |
| 会計監査 | 岩井 弘樹 | 仙台管区気象台気象防災部次長 |
| 幹事 | 岩淵 弘信 | 東北大学大学院准教授（理学研究科） |
| | 淵上 隆雄 | 仙台管区気象台気象防災部防災調査課 調査官 |

日本気象学会東北支部規則

| | |
|---------------|-------------------------------|
| 昭和 32. 5. 26 | 成立 |
| 昭和 32. 7. 5 | 第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加 |
| 昭和 40. 11. 18 | 第 8 条を改正 |
| 昭和 56. 10. 12 | 第 2 条を改正 |
| 昭和 60. 3. 19 | 第 9 条を改正 |
| 平成 2. 6. 21 | 第 8 条を改正 |
| 平成 6. 2. 28 | 第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正 |
| 平成 9. 6. 3 | 第 2 条を改正 |
| 平成 22. 6. 11 | 第 8 条を改正 |
| 平成 25. 6. 20 | 第 1. 2. 18 条を改正 |
| 平成 27. 3. 12 | 第 18 条を改正 |
| 平成 28. 2. 29 | 第 13 条を改正 |

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（3～4 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
（1）事業計画および収支決算
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

| | |
|---------------|---------------------|
| 昭和 33. 7. 5 | 成立 |
| 昭和 40. 11. 18 | 1 項を改正 |
| 昭和 41. 3. 15 | 7 項を改正 |
| 昭和 60. 3. 19 | 12、13、14 の各項を改正 |
| 平成 6. 2. 28 | 1、8、9、12、13 の各項を改正 |
| 平成 22. 6. 11 | 1 項を改正 |
| 平成 27. 3. 12 | 1 項を改正 |
| 令和 1. 7. 10 | 日本気象学会東北支部発表賞の条項を追加 |

1. 理事選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より 8～11 名選出する。このうち在仙理事 5～8 名、地方理事若干名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より 1 名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の 20 日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の 30 日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第 2 項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の 10 分の 1 に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第 9 項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第 9 項または第 12 項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

2. 日本気象学会東北支部発表賞

- 1 日本気象学会東北支部発表賞（以下「支部発表賞」という。）受賞者を選定するため、支部発表賞候補者推薦委員会を設ける。
- 2 委員会は支部常任理事および支部長が指名した支部会員をもって組織する。
- 3 委員会は、支部研究発表会において優れた講演を行った支部会員から、原則として 2 名程度を選び、受賞者を支部理事会に推薦する。原則、半数以上を学生会員とする。ただし、委員は受賞対象とはならない。
- 4 支部発表賞は賞状・副賞（賞金）とし、これを受賞者に贈呈する。

以上